

能美市九谷焼資料館 ロビーギャラリー企画展

[2018.9.19(水) - 10.14(日)]

九谷焼とオープンデータとウルトラアート



企画主旨

ウルトラアートは2013年より、地域活性と観光誘客を実現する能美市のアクションプランとして活動をスタートしました。そのなかで次代を拓く鍵として掲げたのが、アートを共有する「シェアアート」という世界初の理念でした。

まず能美市を代表する地域資源「九谷焼」を、有効活用するアプローチとして「九谷焼のオープンデータ(60作品/写真300点)」に着手。2013年春に、運営サイトを通して全世界に公開しました。当時、工芸のオープンデータ化は国内にも前例がなく、日本初の試みとして注目を集めました。

今回の企画展では、そんなウルトラアートの足跡を辿り

- 九谷焼と九谷五彩をテーマにしたウルトラアートの作品紹介と映像投影
- 九谷焼オープンデータにより生まれた特色ある商品開発事例
- オープンデータシンのシンポジウム開催
- 九谷ぬり絵や九谷焼絵皿コンテストへの展開
- 世界が認めたアートパフォーマンス「KageMai/影舞」
- 新たなビジネス分野の成功事例「ウルトラアートの家」など

さまざまに花開いた取り組みや活用事例をパネルや映像を用いて紹介し、またシンポジウムも企画します。

地域資源である九谷焼を「オープンデータ」として活用したウルトラアートのアプローチは、地域に根ざしたその土地のアートを育むだけでなく、新しい地域活性ビジネスとしての可能性を秘めています。能美市の資産として、また次世代に継承する貴重なアーカイブとして、長く後世に伝えたいと考えます。

能美市九谷焼資料館ロビーギャラリー企画展

九谷焼とオープンデータとウルトラアート

[2018.9.19 (水) ~ 10.14 (日)]



パネルや映像など
ビジュアルを多用した視覚的な展示

これまでのウルトラアートの軌跡や作品、九谷焼オープンデータを活用した商品開発を、パネルや商品を用い、ビジュアルとして分かりやすく展示。

- ロビー上部の壁に映像を投影予定

資料館外観に九谷焼の映像アートを投影

九谷焼資料館の外壁に、ウルトラアートで制作された九谷焼の映像作品を、新たなプロジェクトマッピング作品として投影する。

- 10/6(土) ~ 8(祝・月) / 夕方~



オープンデータのシンポジウム開催

企画展の期間中、オープンデータの有識者を招いてシンポジウムを開催。ウルトラアートの足跡や九谷焼オープンデータを活用した、能美市の取り組みを広くアピールする。